

**kia**  
KOCHI INTERNATIONAL  
ASSOCIATION

公益財団法人高知県国際交流協会

2025 世界の笑顔集まれ

# WINDOW

## 国際ふれあい広場2024



2025  
**Spring**  
No.82

- 当協会実施事業の紹介
  - 国際ふれあい広場 2024
  - 高知県と中国・安徽省との友好締結30周年を記念する訪問
  - 多文化共生講座「ワールドツアー in高知」
  - 多文化共生出前講座 高知大学
  - やさしい日本語セミナー
  - 多文化共生出前講座 大川村、津野町
  - 地域日本語教室と連携した多文化共生出前講座 in香美市
  - 語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳セミナー
  - KIAにほんごクラス地域活動
- セネガル共和国でのJICAボランティア活動について
- INFORMATION BOARD
  - 高知県内在留外国人統計(2024年6月末時点)
  - 高知で世界の味を！中華料理レシピ(ワンタン生地から)

# 国際ふれあい広場2024を開催しました!

今年は「高知で広がる多文化共生!」をテーマに県内の国際交流・協力に関する活動をしている24団体が事業・活動紹介、ワークショップ、パネル展示、歌や踊り、飲食提供をとおして、高知で今現在、広がっている多文化を紹介しました。

ひろめ市場よさこい広場と大橋通り商店街の会場に加え、今年度は新たに帯屋町二丁目商店街でも様々な団体が来場者参加型のワークショップを行うなどイベントを盛り上げてくださいました。今回はイベントの準備段階から高知県立大学Pilinaのみなさんに手伝っていただきました。また、イベント当日はPilinaのみなさんに加え、高知大学えんむすび隊のみなさんにもボランティアでイベント運営を手伝っていただきました。

また、今年度は新たな取組として高知ベトナム交流会、お城下文化の日と同日開催し、3イベントスタンプラリーを行うなど高知の中心商店街などが大いに盛り上がりしました。

今回の国際ふれあい広場2024をとおして、高知の国際交流や国際協力、多文化共生を知るきっかけとなりましたら幸いです。次回も多くの県民のみなさまに楽しんでいただけるよう、準備を進めて参ります。みなさん、来年も国際ふれあい広場でお会いしましょう!

## 【国際ふれあい広場2024】

- 日時：2024年11月17日(日) 10:00 - 16:00
- 会場：ひろめ市場よさこい広場・大橋通商店街・帯屋町二丁目商店街・高知県立高知城歴史博物館(和室)
- 出展団体：ココフォーレ(高知県外国人生活相談センター)、にほんごサロンズ、高知SGG善意通訳クラブ、学校法人 龍馬学園、特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク、高知県フラ協会、日中友好協会太極拳教室、アリランダンス、オイスカ高知県推進協議会、高知県日中友好中国帰国者の会、多文化共生まちづくり委員会、グアテマラ生産者支援ネットワークみるば、デルタ・カップ・ガンマ：ジャパンステイスト、小麦を使わないプレートランチ橙、在高知インドネシア人会、奥村多喜衛協会、高知県青年海外協力隊OB会、NPO法人高知県日本中国友好協会、高知大学国際協力団体すきっぷ、国際ソロブチミスト高知
- 共催：高知県(文化国際課)、独立行政法人国際協力機構 JICA四国センター、オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)
- 後援：高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、エフエム高知、高知ケーブルテレビ、高知新聞社、朝日新聞高知総局、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、日本経済新聞高知支局、高知ロータリークラブ



# 高知県と中国・安徽省との友好締結30周年を記念する訪問

## はじめに

10月13日から10月16日までの3泊4日の日程で、高知県と中国・安徽省との友好締結30周年を記念する訪問団が結成されました。訪問団は、安徽省政府との懇談や先端企業、文化施設の視察を通じて、経済および文化面での新たな協力の可能性を探ることを目的としており、当協会に事務局を置く高知県・安徽省友好交流委員会から事務局員2名を含む4名が参加しました。

## 1. 上海高知県人会との懇談会

上海高知県人会との懇談会では、地元の経済や社会情勢に関する情報交換が行われ、高知県の観光キャンペーン「どっぷり高知旅」の紹介がありました。中国市場における高知県の日本酒やカツオのたたきの人気が高い一方で、情報発信が十分でないことが指摘されるなど、今後の実務連携に向けた建設的な意見交換となりました。

## 2. 安徽省政府表敬訪問及び高知県・安徽省友好提携30周年記念レセプション



省政府訪問1

省政府訪問2

中国人民政治協商会議安徽省委員会主席から、これまでの高知県との交流に対する感謝が述べられ、双方の自然や文化が紹介されました。また、高知県知事からも歓迎への感謝と共に、高知県の自然の豊かさや人々の暖かさが紹介され、特に「食」を楽しんでもらいたいとの挨拶がありました。盛大な歓迎とおもてなしを受け、両地域の経済・文化交流の深化を目指し、今後の連携強化が確認されました。



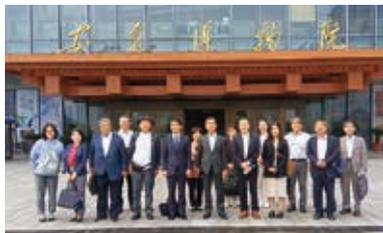
歓迎レセプション

## 3. 安徽荃银高科種業有限公司

安徽荃银高科種業有限公司は、種子を中心とした中国の上場企業で、年間販売量は2億kg超の規模を誇ります。視察団は、企業や中国政府が出資し、東南アジアやアフリカから研修生を受け入れることで、世界各地の市場を開拓するなどの企業戦略の規模に驚かされました。

## 4. 安徽博物院

安徽省博物館では、休館日にも関わらず臨時開館し、訪問団を迎えていただきました。約4,000年前の生活や風景を映し出す展示や、安徽省の歴史的な陶磁器、絵画、彫刻、書などが工夫を凝らして紹介されていました。館長からは、高知県の博物館との連携を通じた文化交流の提案があり、今後の交流強化が期待されます。



安徽博物院

## 5. 安徽省・高知県友好提携30周年記念書道展

安徽省と高知県の友好提携30周年を記念する書道展では、両地域の書道家による作品が展示され、安徽省文芸連盟会長から作品ごとに紹介いただきました。また、安徽省書道協会副主席による書道の実演が行われ、完成した作品が訪問団へのお土産として贈られました。



書道展

行事	日	時間	場所
上海高知県人会との懇談会	2024年10月13日(日)	13:30~15:00	上海佰翔花园酒店
安徽省政府表敬訪問及び高知県・安徽省友好提携30周年記念レセプション	2024年10月13日(日)	19:30~22:00	pullman hefei sunac
安徽荃银高科種業股份有限公司	2024年10月14日(月)	9:30~10:30	安徽荃银高科種業股份有限公司
安徽博物院	2024年10月14日(月)	11:00~12:20	安徽博物院
安徽省・高知県友好提携30周年記念書道展	2024年10月14日(月)	14:30~17:00	久留米友好美術館
合肥植物園	2024年10月15日(火)	13:00~14:00	合肥植物園
安徽大学	2024年10月15日(火)	11:00~11:30	安徽大学
アイフライテック	2024年10月15日(火)	13:20~14:20	アイフライテック

## 6. 合肥植物園

合肥植物園では、園長やスタッフから歓迎を受け、専用のカートで広い園内を案内されました。園内には四季折々のエリアがあり、合肥市の花である金木犀や安徽省原産の植物など多くの植物を見ることができました。特に、高知県との交流に関するコーナーが設置され、これまでの交流の歴史を記したパネルや、協定締結時に植えられた桜、友好協定20周年に植樹された金木犀が記念碑とともに展示されていました。園長からは牧野植物園を訪問した際の感銘と、今後も他の植物園との交流を通じて合肥植物園を発展させたいという意向が述べられました。



合肥植物園

## 7. 安徽大学

安徽大学では、学長から大学の概要や高知大学および高知工科大学との学術交流について説明があり、今後も交流拡大の意向が確認されました。また、日本語学科は卒業生500人以上を輩出した歴史を持ち、高度な人材育成に努めていることが強調されました。訪問を記念して、植樹と記念碑が準備され、日本語学科の学生たちによる歓迎を受けながら、関係者一同で植樹セレモニーが行われました。



安徽大学(植樹)

## 8. アイフライテック

アイフライテックでは、音声認識や自然言語処理などの先進的なAI技術が紹介され、参加者全員がイヤホンを使用して製品のデモを体験しました。特に、同時通訳機を使ったデモでは、発言が即座に日本語の文字として表示され、翻訳精度やオフラインでの使用可能性について詳しく説明されました。現地のAI技術のスピードと精度を直接体感する貴重な機会となりました。

## まとめ

今回の訪問では、歓迎レセプションでの盛大な歓迎や、安徽博物院が休館日に特別に開館し館長が迎えてくださったこと、また安徽大学では昼食の会場が急遽レストランに変更されるなど、受け入れ先すべてでの現地の方々の「ゲストを盛大にお迎えする」という強い心意気に感動しました。

この度の訪問を通じて、高知県と安徽省の双方の交流がさらに深まり、互いに学び合い、支え合う関係が築かれていることを実感しました。

今回の訪問が、今後の双方の発展に繋がる重要な一歩となることを確信しています。これからも、地域間の絆を強化し、未来に向けた新たな協力の機会が生まれることを楽しみにしています。

※30周年記念誌を発行します。

# 多文化共生講座 「ワールドツアー in高知」

- 日 時: 2024年9月28日(土) 10:00~12:00
- 場 所: オーテピア(4階・ホール)
- 主 催: 公益財団法人 高知県国際交流協会  
独立行政法人 国際協力機構四国センター

2024年9月28日、オーテピアで開催された「ワールドツアー in高知」には、多文化共生社会を目指す多くの参加者が集まりました。イベントでは、様々な国や文化を紹介するブースが設けられ、参加者は自分の興味のある国について学びながら、まさに「ワールドツアー」のような体験を楽しみました。

講師陣には、ベトナム、パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン、フィリピン、マリ、ナミビア、そしてJICAの方々に参加し、それぞれの国の文化や伝統を紹介しました。さらに、高知県外国人生活相談センター「ココフォーレ」の職員からは、外国人住民向けの相談窓口や「やさしい日本語」の取り組みについても説明があり、参加者は地域社会における異文化交流の重要性を再認識しました。

イベントでは、アルゼンチンのエンパナーダやアサド、ナミビアの伝統、ブラジルのカーニバル文化など、さまざまな国の文化に触れることができ、参加者は現地の言葉で「ありがとう」や「おはよう」と挨拶を交わし、文化の違いを越えて共感を深めることができました。

「たくさんの国の文化や生活について、直接現地の人から話を聞いて良かった」「異文化への理解が深まった」との感想が寄せられ、また参加者同士の交流も活発に行われ、異文化理解が促進されたことが伝わってきました。

このイベントを通じて、参加者は異文化の多様性を感じることができたようです。今後も、このような交流の場を提供し、多文化共生社会の実現に向けてさらに努力していきたいと考えています。



## 多文化共生出前講座 高知大学

- 日 時: 2024年12月13日(金) 10:30~12:00
- 学年等: 教育学部1年生

高知大学教育学部1年生を対象に、出前講座を開催しました。講座では、KIA(高知県国際交流協会)やココフォーレの取り組みを紹介し、参加者には「外国にルーツを持つ子供」について考えるワークショップを実施しました。

ワークショップでは、「外国にルーツを持つ子供」への支援方法や、その周囲の子供への対応について議論してもらいました。学校や行政など、さまざまな立場から多角的な支援について意見が出され、活発な議論が交わされました。

この講座を通じて、教育者を志す学生に対し、今後の教育現場で直面するであろう課題に対して考える機会を提供できたのではないかと感じています。



# やさしい日本語セミナー

- 日時:2025年1月10日(金) 13:30~16:00
- 場所:オーテピア(4階・研修室)、オンライン
- 参加者:44名
- 共催:オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)



やさしい日本語について、一般財団法人自治体国際化協会のアドバイザー派遣により、広島を中心にご活躍中の犬飼康弘さんを講師にお迎えし、外国人の方に限らず、様々な場面で役に立つやさしい日本語について、参加者によるグループワークも適時交えながら、分かりやすく教えていただきました。

当日は、会場にてお話をさせていただく予定でしたが、思わぬ大雪による道路の通行止めにより、急遽、広島からのテレビ中継ならぬ、ウェブ中継によるオンライン形式での開催となりました。少し参加された方に分かりやすいセミナーとなるか心配もしましたが、講師の方の話す内容のすばらしさにそのような心配は無用で、会場への参加者の方からは、講師にお会いできなかったことを残念と言っている方もおいでました。オンライン参加者を含むアンケート結果からは好評の旨のご意見をいただき、内容的には大変満足されていました。

グループワークでは、災害時の避難命令の発令時、健康保険証の発行手続きなどの対応について、会場、オンライン参加を問わずやさしい日本語への言い換えの演習が行われ、今後参加者の方が、それぞれの立場でご活用していただけるよう期待しています。



## 多文化共生出前講座

### 津野町

- 日時:2024年8月23日(金) 10:00~12:00
- 場所:津野町社会福祉協議会
- 対象:津野町の児童20名、社会福祉協議会の職員8名

津野町で多文化共生出前講座を開催しました。

津野町の子供たちを対象に多文化共生出前講座を開催しました。講座には海外技術研修員(岡林ナタリさん-ブラジル、和田あゆみさん-パラグアイ、畑中雅さん-アルゼンチン)が講師として参加し、それぞれの国について紹介しました。

研修員たちは、母国の食生活や有名人、観光地についてわかりやすく説明し、子供たちは興味津々の様子で耳を傾けていました。なかでも、ブラジルの「カーニバル」の華やかさや、パラグアイの伝統工芸「ナンデュティ」、アルゼンチンの「マテ茶」など、異文化に触れる貴重な時間となりました。

講座の最後には、こうしたキーワードを使ったビンゴゲームを行い、研修員と子供たちが一緒になって楽しみました。ゲームが進むたびに歓声が上がりが、大盛り上がりで講座を締めくくることができました。

子供たちにとって、多文化について学ぶとともに、異国の方々と直接ふれあう良い機会となったようです。これからも地域と世界をつなぐ活動を続けてまいります!



### 大川村

- 日時:2025年1月11日(土) 10:40~12:00
- 場所:大川小中学校
- 対象:大川小中学校1~9年生とその保護者、教職員、村民(約30名)

大川小中学校で多文化共生出前講座を開催しました。

講座では、まず高知県CIRのジェイコブ・ロダーさんからアメリカの地理や歴史を紹介し、続いてパラグアイに移住した高知県人の歴史や文化について、海外技術研修員の和田あゆみさんから紹介がありました。最後に、KIA(高知県国際交流協会)の取り組みと「やさしい日本語」のワークショップを行いました。

ワークショップでは、「学校でよく使う文章をやさしい日本語になおしてみよう」という課題に取り組んでいただきました。作業の時間では上級生が下級生を助ける心温まる場面もあり、和やかな雰囲気ですべて進みました。

「やさしい日本語」のワークを通じて、参加者には「相手を思いやるやさしい気持ち大切である」ことを伝え、この講座を締めくくりました。地域の皆さんと共に学び、交流できた貴重な時間となりました。



## 地域日本語教室と連携した多文化共生出前講座 in 香美市

- 日時:2024年11月30日(土)14:00~16:00
- 場所:香美市立図書館かみーる(つながる一む)
- 共催:高知県、オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)、香美市生涯学習振興課
- 内容:●「ベトナムってどんな国?ベトナムを知ろう!」  
(講師)高知県国際交流員 ブイ カイン リン氏(ベトナム出身)  
●ベトナム語と日本語でおしゃべりセッション  
●図書館の関連図書展示



「香美市のみんな集まれ!交流会 ベトナムってどんな国?」開催しました!

KIAでは地域の多文化共生への意識づくりのため交流会を開催しています!

香美市では、ベトナムをテーマに交流会を開催しました。香美市の在留外国人の総数は450名で、外国人住民割合は1.76%と高知県内で芸西村、須崎市について3番目に外国人住民の割合が多い地域です。国籍別にみるとベトナム出身者が139名と最も多く、全体の30%を占めています。(出入国在留管理庁2024年6月末データ)

ベトナムのことを知るため高知県国際交流員リンさんからベトナムの人々の生活や食事について教えてもらいました。

ベトナム語のあいさつと自己紹介を勉強し、ベトナムの伝統衣装アオザイを着ておしゃべりセッションをしました。

参加した方からは「ベトナムのことを知ることができてよかった。」「ベトナム語の勉強ができてよかった。」などの感想をいただきました。

参加してくださった香美市のみなさま、ありがとうございました。



# 語学ボランティアを対象とした 通訳・翻訳セミナー

本セミナーは日常生活の様々な場面で言葉だけでなく文化の橋渡しを行い、地域で暮らす外国人住民が円滑なコミュニケーションができるようサポートする人材を育成することを目的に2013年から開催しています。今年度は、実際に県内で通訳・翻訳をされている方々を講師とし、実体験を紹介いただくことでより地域に目を向け、情報共有やネットワーク作りの一環となる講座を企画・開催しました。

- 日 時 2024年10月12日(土) 10:00~12:00
- 場 所 オーテピア(4階・集会室)
- 共 催 オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)
- 内 容 第1部 ココフォーレ通訳ボランティアによる事例発表  
 (講師)ココフォーレサポーター 高橋 瑞絵氏  
 第2部 講師によるコミュニティ通訳・翻訳講座  
 (講師)KIA語学ボランティア 佐藤 恵子氏  
 第3部 ワークショップ
- 参加人数 一般参加者41名、パネリスト10名

第1部ではココフォーレサポーターの高橋瑞絵氏にボランティアとして在住外国人の方々にサポートする際の心構え、やりがい等についてお話をいただきました。第2部ではKIA語学ボランティアであり、日本語教師としても活躍している佐藤恵子氏に高知に住む在住外国人の方々が直面している問題やその解決方法について具体例を挙げながらお話をいただきました。第3部ワークショップでは、在住外国人10名がパネリストとして参加し、生活での困り事についてロールプレイをとおしてグループで話し合う機会を設けました。在住外国人の方々の生の声を聞き、一緒に解決策を考え悩んだ時間は私たちにとっても貴重な時間でした。参加して下さったみなさま、ありがとうございました。



第1部・第2部の様子



第3部の様子

## KIAにほんごクラス地域活動

### 防災学習会

7月18日、10月23日

KIAラウンジで防災学習会をしました！災害・防災についての言葉を学んだあと、株式会社フタガミの防災士のみなさんと忍者が防災について教えてくれました。地震が起きて、上から物が落ちて来るときは靴や買い物かごなど近くにあるもので頭を守ること、頭を守るときは頭との間に隙間があるとより安全だということを実際に買い物かごとおもちのハンマーを使って体験しました。その他、地震の揺れ体験やトイレ凝固剤の体験をし、災害時に自分や周りの人を守るための方法を教えてもらいました。



### 図書館利用学習会

10月2日

オーテピア高知図書館に行き、図書館でできることを学びました。本の借り方、返し方はもちろん、図書館のWebサイトの使い方、ロッカーや自転車置き場の場所など図書館を利用するうえで必要なことを教えてもらいました。

図書館の利用者カードを作り、日本語の勉強の本や自分の国の言葉の本を借りました。



### ポットラックパーティーを開催しました！

12月17日にKIAにほんごクラスでポットラックパーティーを開催しました。今回はにほんごクラスの関係者だけでなく、地域の方々、おしゃべりセッション参加者など、たくさんの方に参加いただきました。



KIAにほんごクラスに興味のある方はご連絡ください！

KIA HP  
「にほんご  
きょうじつ」



KIA  
オンライン  
にほんご  
教室申込



# セネガル共和国でのJICAボランティア活動について

JICA海外協力隊 2022年度3次隊 セネガル 数学教育 藤戸 拓実

2023年1月からセネガル共和国(以下セネガル)で活動していたJICA海外協力隊の藤戸拓実と申します。この記事が皆様の手に届く頃には、活動期間が終了し、帰国している頃でしょうか。私は、数学教育という職種で、現地の視学官事務所(日本でいうところの教育委員会)へ配属し、小中学校で算数・数学を教えておりました。

## セネガルという国

セネガルはアフリカ大陸の最西端に位置し、サヘル地域に属する国民の96%がイスラム教徒の国です。皆様の中にはパリ・ダカルラリーを知っている方もいらっしゃるかと思います。そのゴール地点である首都



首都ダカールは大都会

ダカールから約130km離れたケベメール市という町に住んでいました。赴任する前のセネガルの印象は、砂漠やバオバブの木々といったイメージを持っていましたが、首都や州都は、インフラが整い、ビルが立ち並び、持っていた印象とは異なる景色に圧倒されたことを覚えています。

## なぜ協力隊を志したか

大学生の頃に読んだ、協力隊OVの方々執筆された本がきっかけです。当時は、教員免許の履修をし、将来は教員として地元高知で働こうと考えていましたが、この本との出会いで、「教育×国際協力」という一歩を踏み出す勇気をもらいました。

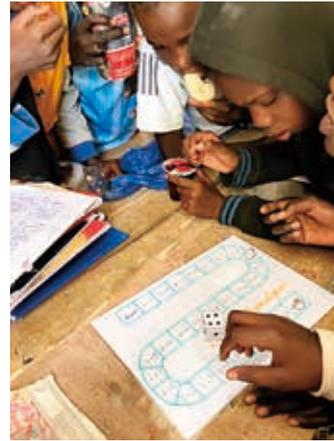
## どんな活動をしていた?

市内の小中学校にて、基礎計算能力の向上を目標に活動しました。現状、子どもたちは四則計算に躓いている子が多く、文章問題以前に、基礎的な計算の土台作りから地道に取り組みました。特に家庭学習の少なさから復習の機会がありません。授業内



数字カードを使ってグループワーク(掛け算)

で復習時間を作り、「九九カード」や「10の合成分解(例えば $10=3+7$ )」などの教材を取り入れた授業を繰り返し行い、児童の計算力向上に多少なりとも貢献できたと感じています。また、校内教員研修も実施し、教授方法の共有や教材の作成をしたり、中学校では週一回、四則演算に焦点を絞ったテストを作成・実施しました。



休み時間に九九すごろくで勉強している5年生



校内教員研修で教材を作成している写真

## 印象に残っていること

セネガルの小学校では、学期末テストの際に各家庭から、テスト用紙のコピー代としてお金を集金します。私の学校では、集めたお金をクラスのリーダーが回収して合計金額を数えます。リーダーの子どもがお金を数えている場面を見ていると、「一人分」×「いくつ分」と日常生活と算数で学んだことを関連づけて計算していることに感動したことを覚えています。

## 現地で学んだこと&帰国後に活かしたいこと

何事も自分発信でアクションを起こし、コミュニケーションをとることの大切さを改めて感じた2年間でした。異なる言語・文化の中で、初めは話すことを躊躇うこともありましたが、伝わらない、自分の意図とは別の捉えられ方をされたら怖いという気持ちがあったことも事実です。自分の殻を破りコミュニケーションを取れば、相手は必ず理解してくれるという実体験は、帰国後も生きてくる力になると信じています。協力隊経験者として、海外で得たノウハウを活かしながら、地域社会と地球市民をつなぐ役割を担えたらと思います。



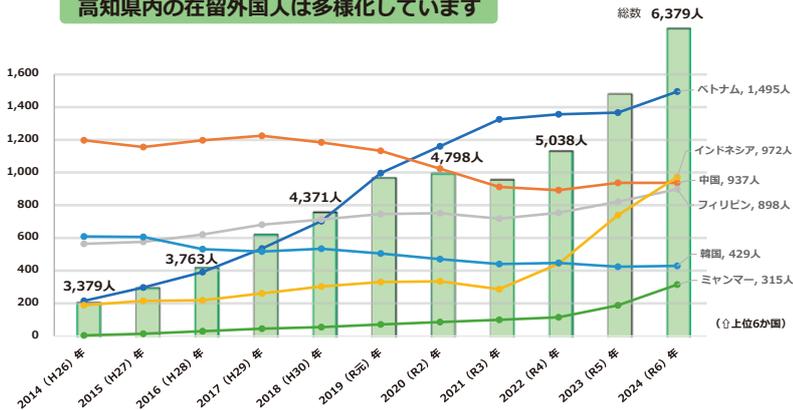
大好きなセネガル料理ヤッサブレを友達と食す誕生日の思い出

# INFORMATION BOARD

## 高知県内在留外国人統計 2024(令和6)年6月末現在

### ●在留外国人数の推移

高知県内の在留外国人は多様化しています



### ●在留資格別

教授	17
芸術	0
宗教	2
報道	0
高度専門職1号イ	6
高度専門職1号ロ	1
高度専門職1号ハ	0
高度専門職2号	2
経営・管理	14
法律・会計業務	0
医療	4
研究	2
教育	142
技術・人文知識・国際業務	206
企業内転勤	10
介護	33
興行	4
技能	90
特定技能1号	1,134
特定技能2号	1
技能実習1号イ	3
技能実習1号ロ	788
技能実習2号イ	12
技能実習2号ロ	1,075
技能実習3号イ	4
技能実習3号ロ	206
文化活動	4
留学	586
研修	6
家族滞在	184
特定活動	87
永住者	1,000
日本人の配偶者等	293
永住者の配偶者等	14
定住者	94
特別永住者	355
計	6,379

### ●国籍別

ベトナム	1,495	パキスタン	19	ブルキナファソ	5	アルゼンチン	2
インドネシア	972	マレーシア	17	シンガポール	4	トルコ	2
中国	937	東ティモール	14	チェコ	4	オーストリア	1
フィリピン	898	フランス	13	ガーナ	4	モロッコ	1
韓国	429	ニュージーランド	13	イラン	4	エストニア	1
ミャンマー	315	ベネズエラ	12	コートジボワール	4	モルドバ	1
米国	178	ラオス	10	セネガル	4	ブルウェー	1
カンボジア	148	南アフリカ共和国	9	オランダ	4	ウズベキスタン	1
ネパール	143	ドイツ	8	ポーランド	4	ケニア	1
バングラデシュ	95	ペルー	8	デンマーク	3	マリ	1
インド	93	ロシア	8	スウェーデン	3	モザンビーク	1
タイ	76	ハンガリー	7	メキシコ	3	ナミビア	1
英国	73	ナイジェリア	6	アイルランド	3	キューバ	1
台湾	66	イタリア	6	ポルトガル	2	ジャマイカ	1
モンゴル	44	ドミニカ共和国	6	ベルギー	2	エジプト	1
カナダ	35	トンガ	6	スイス	2	コロンビア	1
オーストラリア	34	スペイン	6	ウクライナ	2	パラグアイ	1
朝鮮	33	ルーマニア	5	チュニジア	2	ツバル	1
スリランカ	25	タジキスタン	5	ホンジュラス	2		
ブラジル	24	アフガニスタン	5	チリ	2		
						計(78か国)	6,379

高知県外国人生活相談センターの通訳・翻訳スタッフ中国語担当の張さんが、生地から作るワンタンレシピを教えてくださいました。

高知で世界の味を!

## 中華料理レシピ

ワンタン  
生地から

### 材料

〈生地〉	
中力粉	180g
コーンスターチ	20g
水	100g
〈肉だね〉	
豚ひき肉	150g
セロリ	200g
ごま油	5g
オイスターソース	12g
塩	2g



- 1 粉類と水を箸で混ぜて、まとまりはじめたら、ツヤが出るまで良くこねる。ツヤが出てきたらラップに包んで常温で30分ほど休ませる。
- 2 セロリはみじん切りにして塩をふり、5分ほどおいて水気をしっかり絞る。
- 3 ボウルにひき肉と2、肉だねの調味料全てを入れて良くこねる。
- 4 1の生地の上にコーンスターチ(分量外)をふり、めん棒(長ければ長いほどよい)で薄く大きく正方形に伸ばす。
- 5 4の生地を包丁で10×10センチの正方形にカットする。→ワンタン皮ができた!
- 6 ワンタン皮の中央に3を適量のせ(写真①)、上縁に水を塗り、半分に折ってしっかり押さえて(写真②)、皮の上部分を折って両側から角を寄せる(写真③)。
- 7 左の角に水を塗り、右の角をしっかりくっつける→ワンタン完成!(写真④)
- 8 鍋にたっぷりの湯を沸かして、7を入れて、鍋から湯が沸きこぼれそうなときは、2~3回差し水をして、浮き上がってきたら完成。